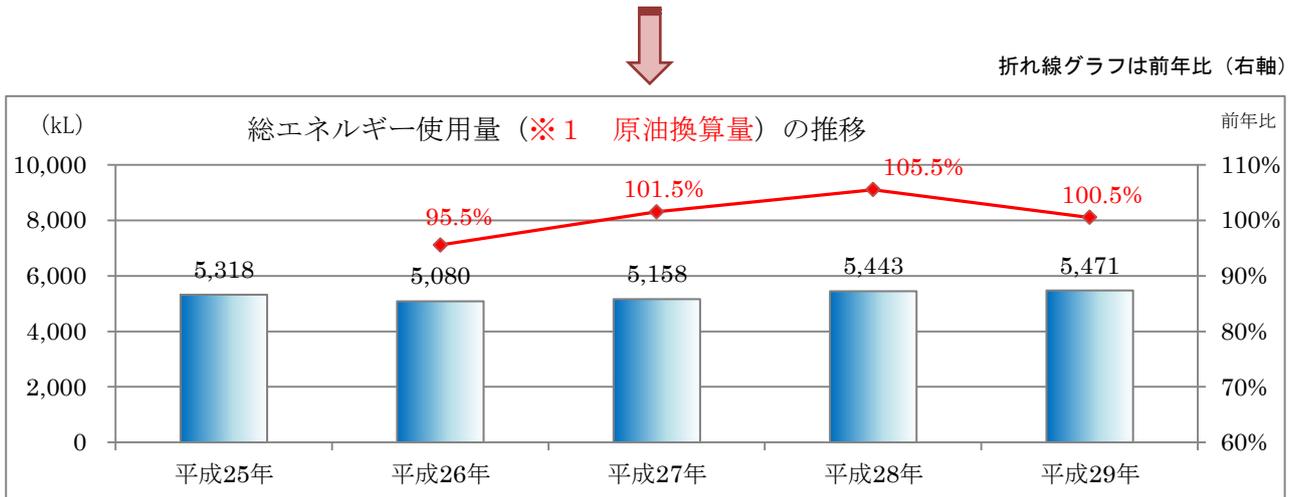


# 平成29年度 武庫川学院エネルギー使用状況

武庫川学院全体のエネルギー使用状況は下記のとおりです。  
平成25年度から平成29年度までを比較しグラフ化しています。

## ① エネルギー使用量の推移

エネルギー使用量は、平成26年度までは照明・空調などを最新のものに更新することで徐々に減っていました。平成27年度は看護科学館・学校教育館・武道館の建設により、平成28年度は夏の酷暑・平成29年度は冬の厳寒による空調使用の増加等により、少し増えてきています。

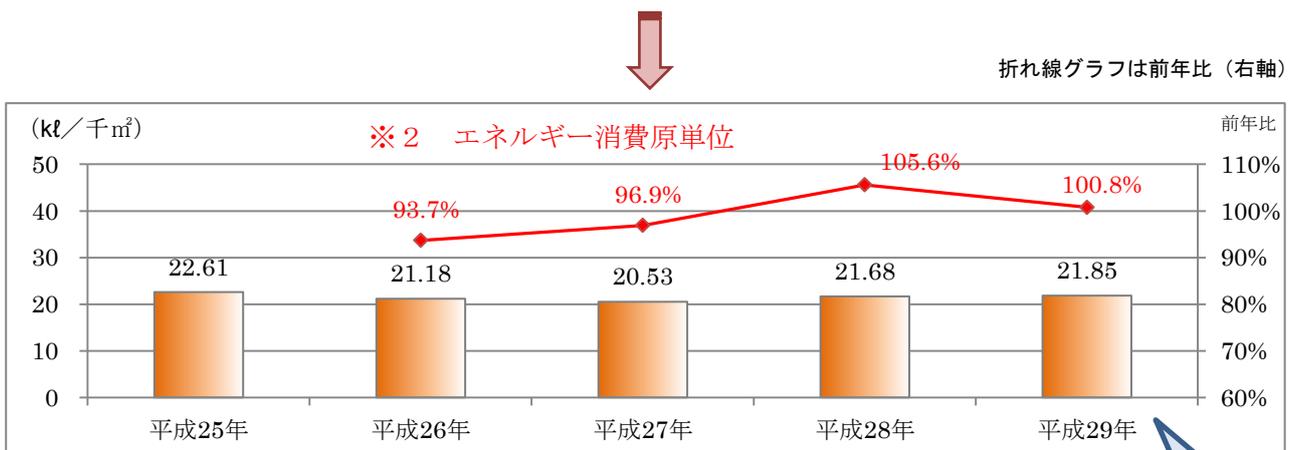


### ※1 (原油換算量)

電気・ガソリン・重油・ガスなど、異なるエネルギーや燃料を共通の単位を用いて合計・比較するために、原油の単位量あたりの発熱量を用いて、原油の量 (KL や L) に換算することを原油換算といいます。(省エネ法で定める計算数値)

## ② エネルギー消費原単位の推移

エネルギー消費原単位も徐々に減っていましたが、平成28年度夏の酷暑・平成29年度冬の厳寒による空調使用の増加等により増えています。(平成29年度は前年度比0.8%増加)



### ※2 (エネルギー消費原単位)

総エネルギー使用量をエネルギー使用量と密接な関係を持つ値（本学では建物の延床面積）で割ったもの。  
省エネ法では、この数値を下げることを目標にしています。

前年度比  
0.8%増

※ エネルギー使用の無駄をなくして、地球環境保全につなげよう。